

第 1 章 人口ビジョン

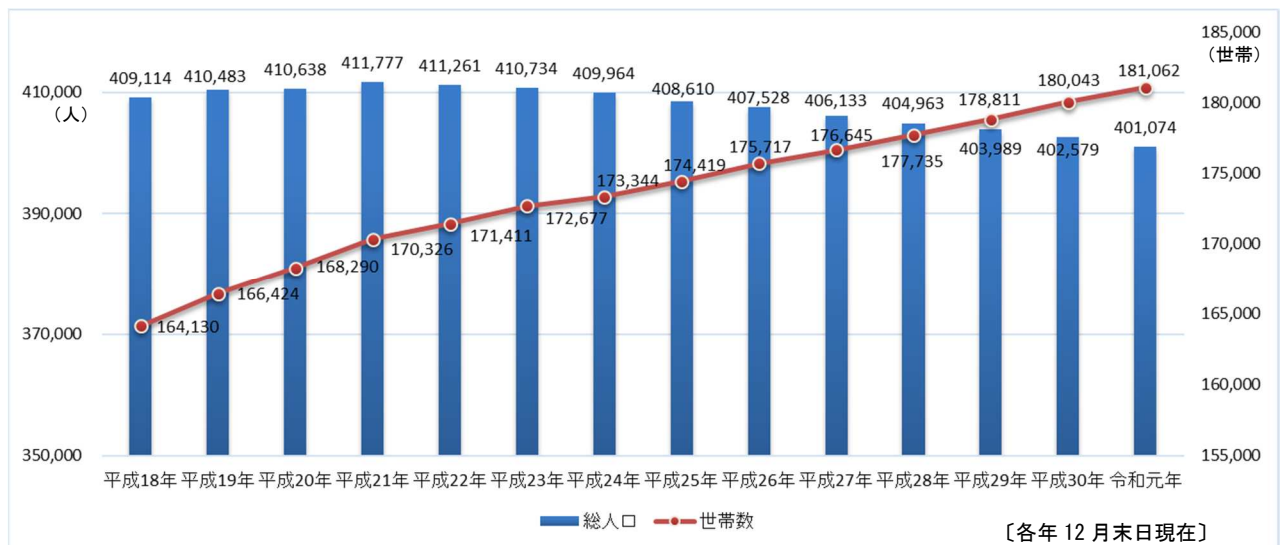
1. 枚方市人口の現状

(1) 総人口・世帯数・年齢3区分別人口割合の推移

本市の総人口については、平成21年まで増加傾向が続き、一時41万人を超えましたが、平成21年をピークに減少傾向となり、令和元年12月末日現在では、401,074人となっています。

一方で、世帯数については、令和元年12月末日現在、181,062世帯で、増加傾向が続いていることから、1世帯あたり人員は減少傾向で、家族の少人数化が進んでいることがうかがえます。

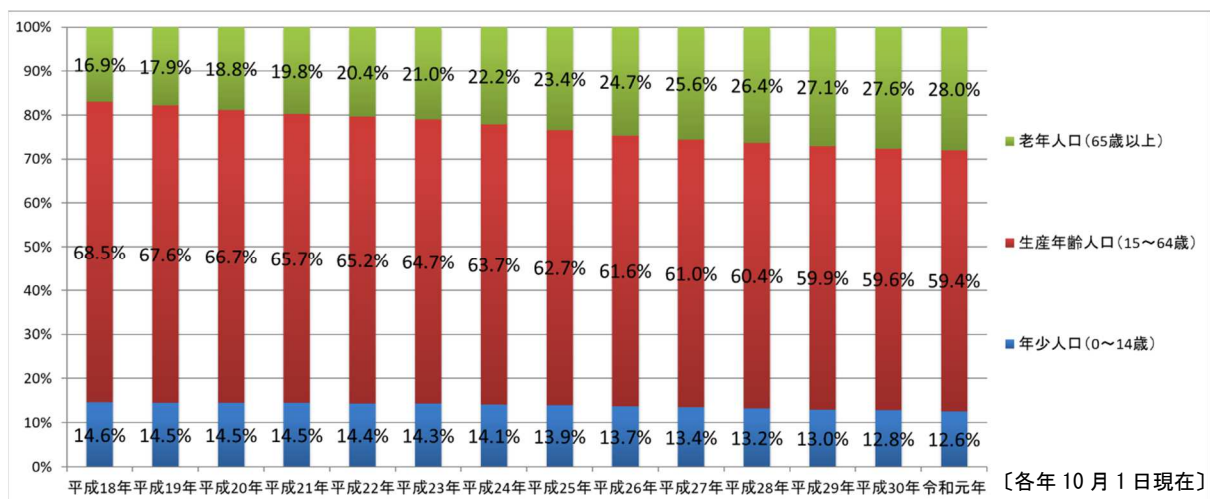
図 総人口・世帯数の推移



出典：住民基本台帳報告書

年齢3区分別人口の割合については、令和元年10月1日現在では、老年人口（65歳以上）が28.0%、生産年齢人口（15～64歳）が59.4%、年少人口（0～14歳）が12.6%となっており、生産年齢人口（平成18年比9.1ポイント減）と年少人口（平成18年比2.0ポイント減）は減少傾向にあるのに対し、老年人口（平成18年比11.1ポイント増）は増加傾向にあり、少子高齢化が進行しています。

図 年齢3区分別人口割合の推移



出典：枚方市統計書

(2) 地域別人口の推移

地域別の人口については、市域を主要な河川や幹線道路によって7つの地域（北部地域、中部地域、南西部地域、中東部地域、中南部地域、南部地域、東部地域）に区分した場合、平成25年から令和元年までの推移を見ると、南西部地域を除いて減少しており、北部地域で2,631人の減少がみられます。一方、南西部地域では1,015人の増加となっています。

図 地域区分図

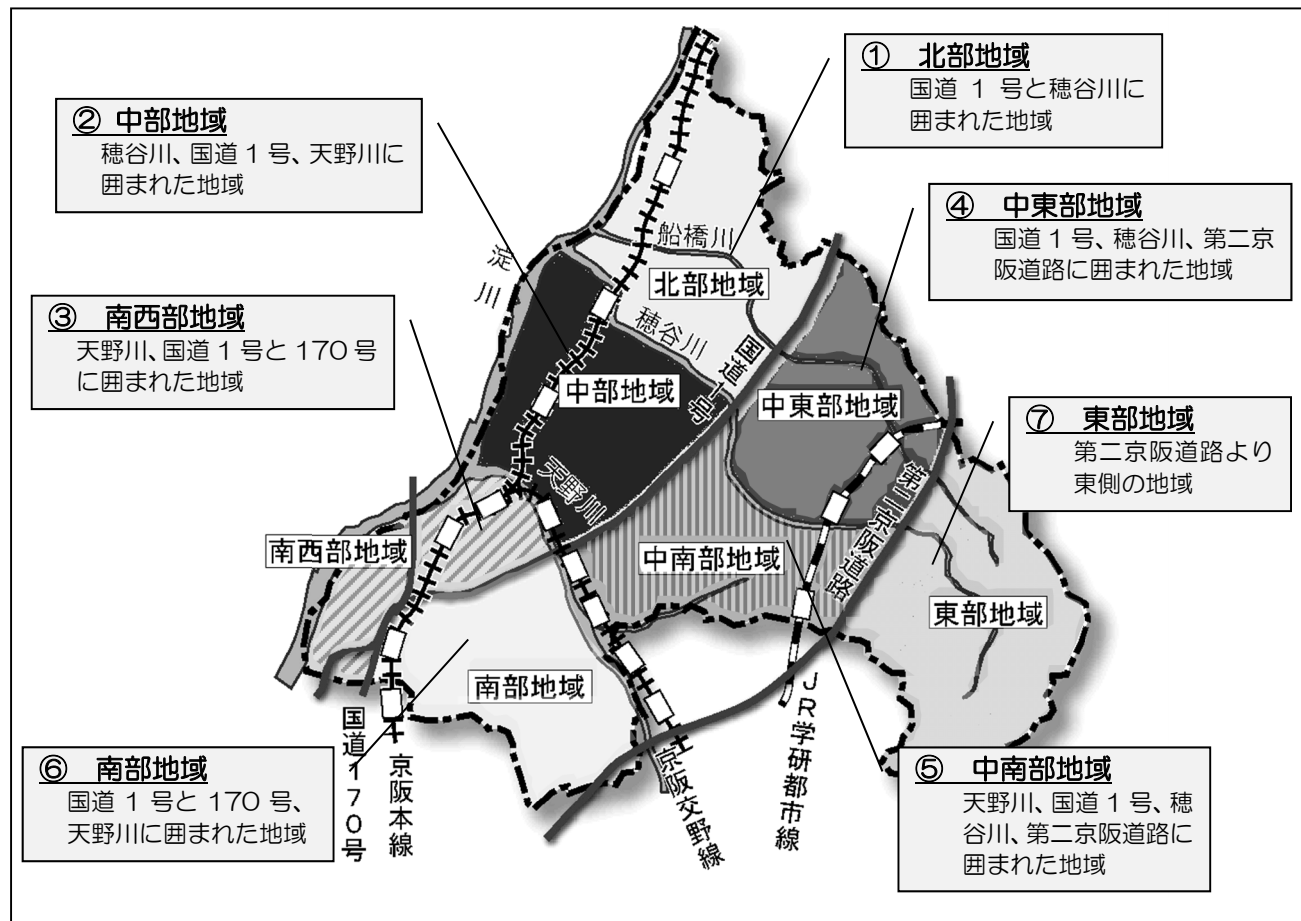
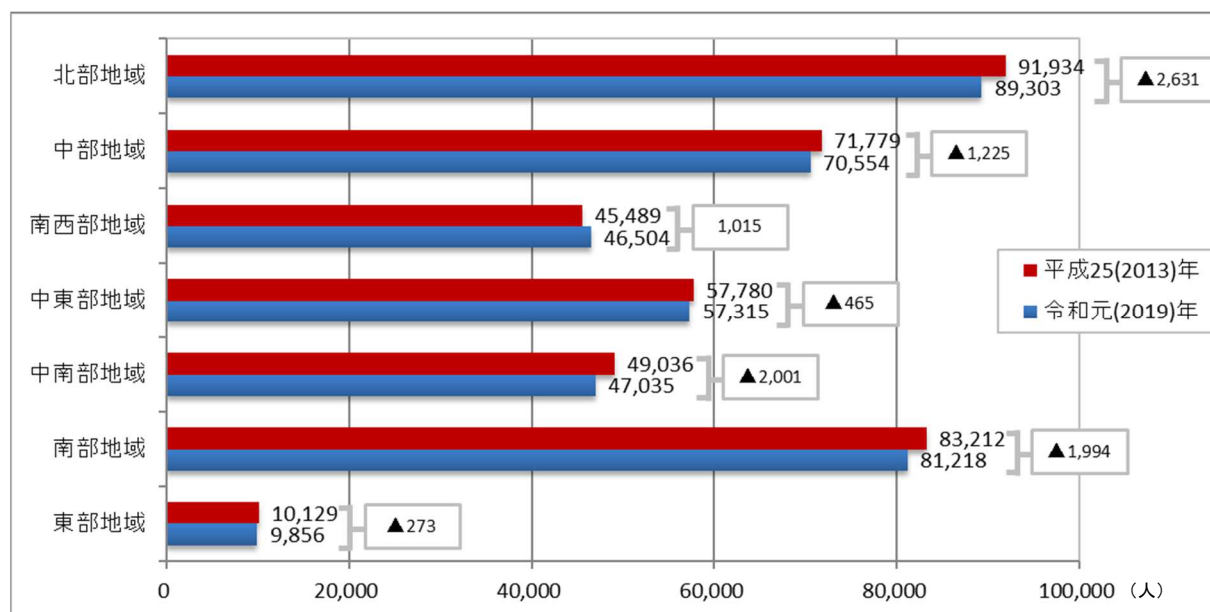


図 地域別人口の推移



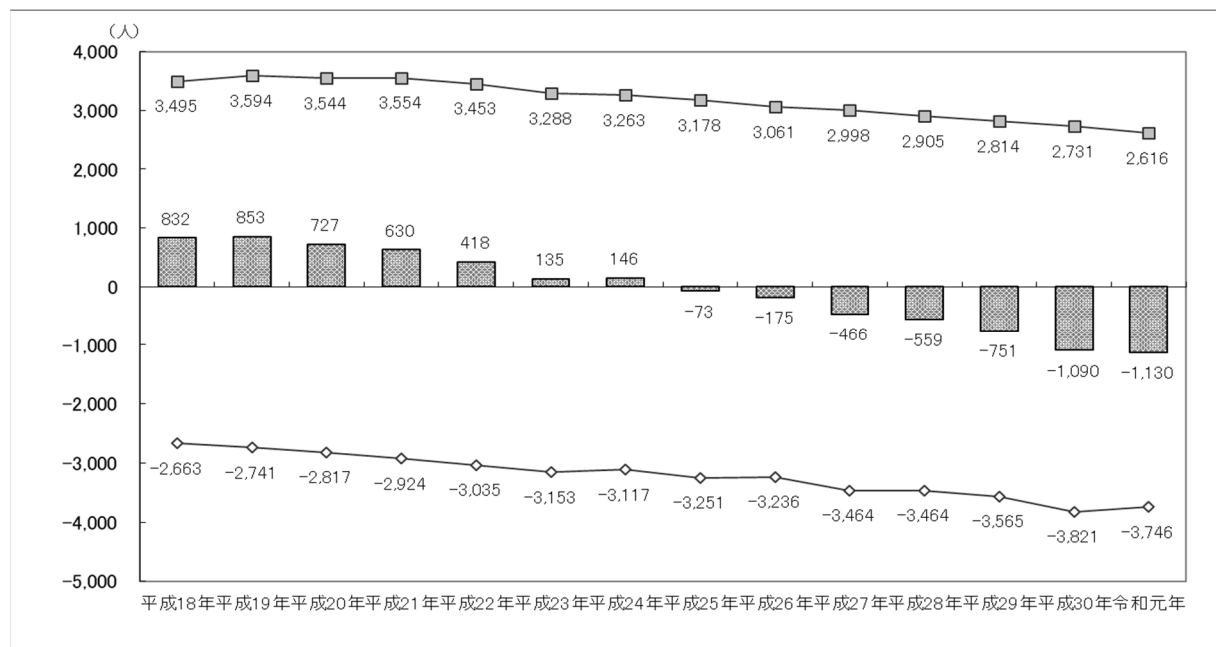
出典：枚方市 人口推計調査報告書

(3) 自然動態（出生・死亡）

①自然増減の推移

出生と死亡による自然増減については、平成 24 年までは出生数が死亡数を上回る自然増が続いていましたが、平成 25 年以降、死亡数が出生数を上回り、令和元年では 1,130 人の自然減となっています。

図 自然増減の推移

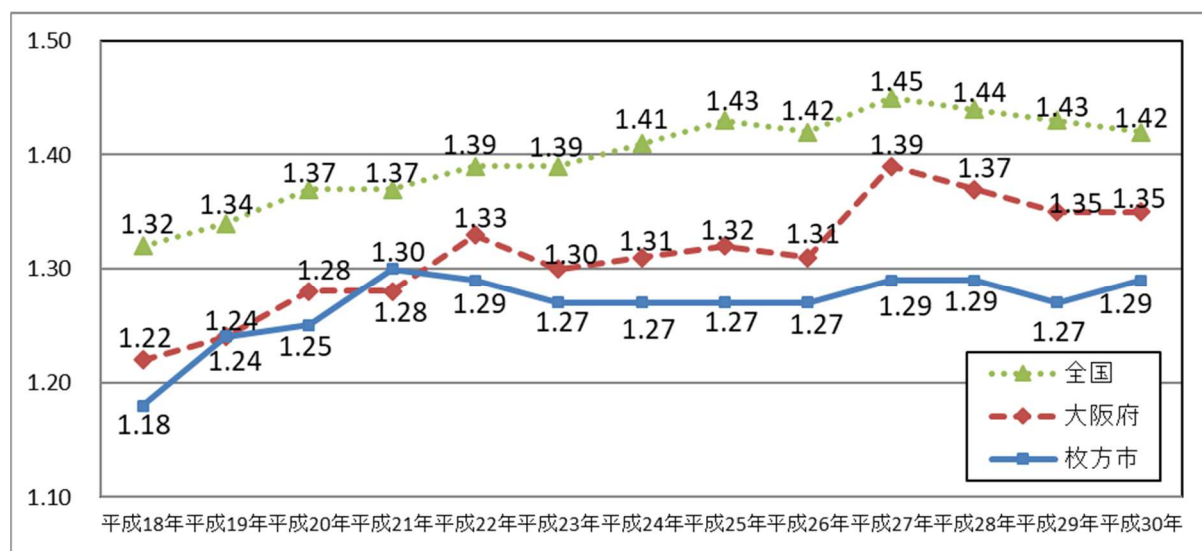


出典：枚方市統計書

②合計特殊出生率の推移

本市の合計特殊出生率（一人の女性が一生の間に産む子どもの数に相当）については、平成 20 年以降では平成 21 年をピークに減少傾向にあり、平成 30 年には 1.29 となっており、大阪府の 1.35 よりも 0.06 ポイント、全国の 1.42 よりも 0.13 ポイント低く、人口増減の分岐点である 2.08 を大きく下回っています。

図 合計特殊出生率の推移



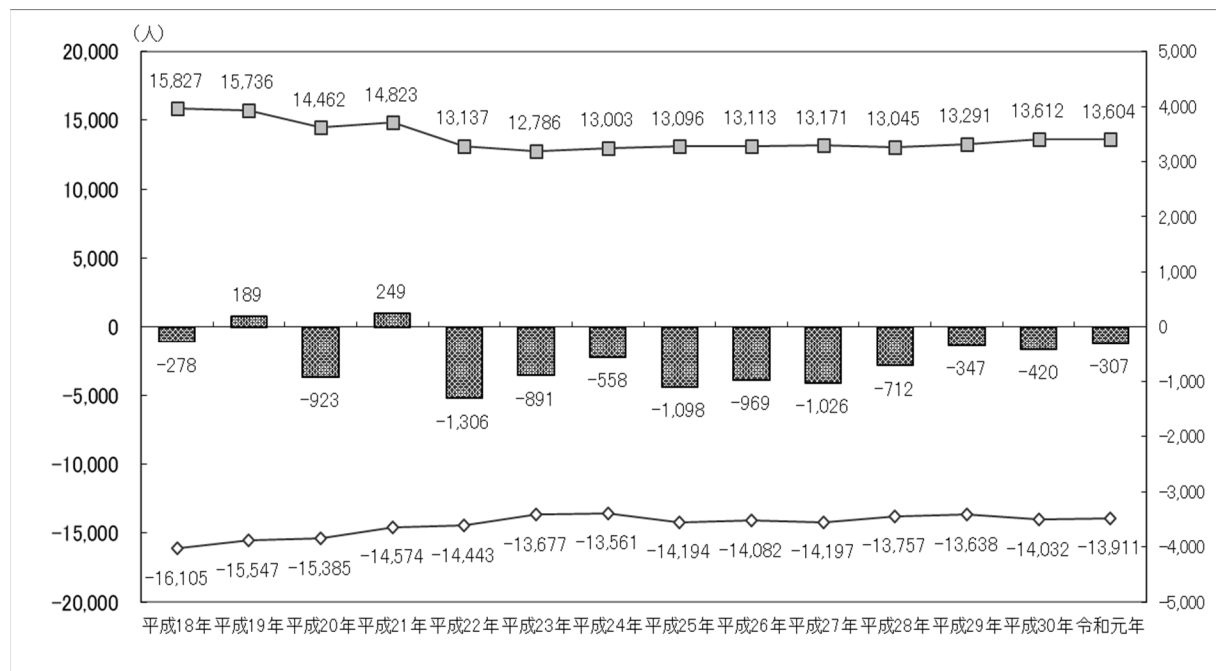
出典：枚方市作成

(4) 社会動態（転入・転出）

①社会増減の推移

転入と転出による社会増減については、転出数が転入数を上回る社会減の傾向が続いており、平成19年と平成21年に社会増となっているものの、平成22年から再び転出が超過し、令和元年では307人の社会減となっています。

図 社会増減の推移



出典：枚方市統計書

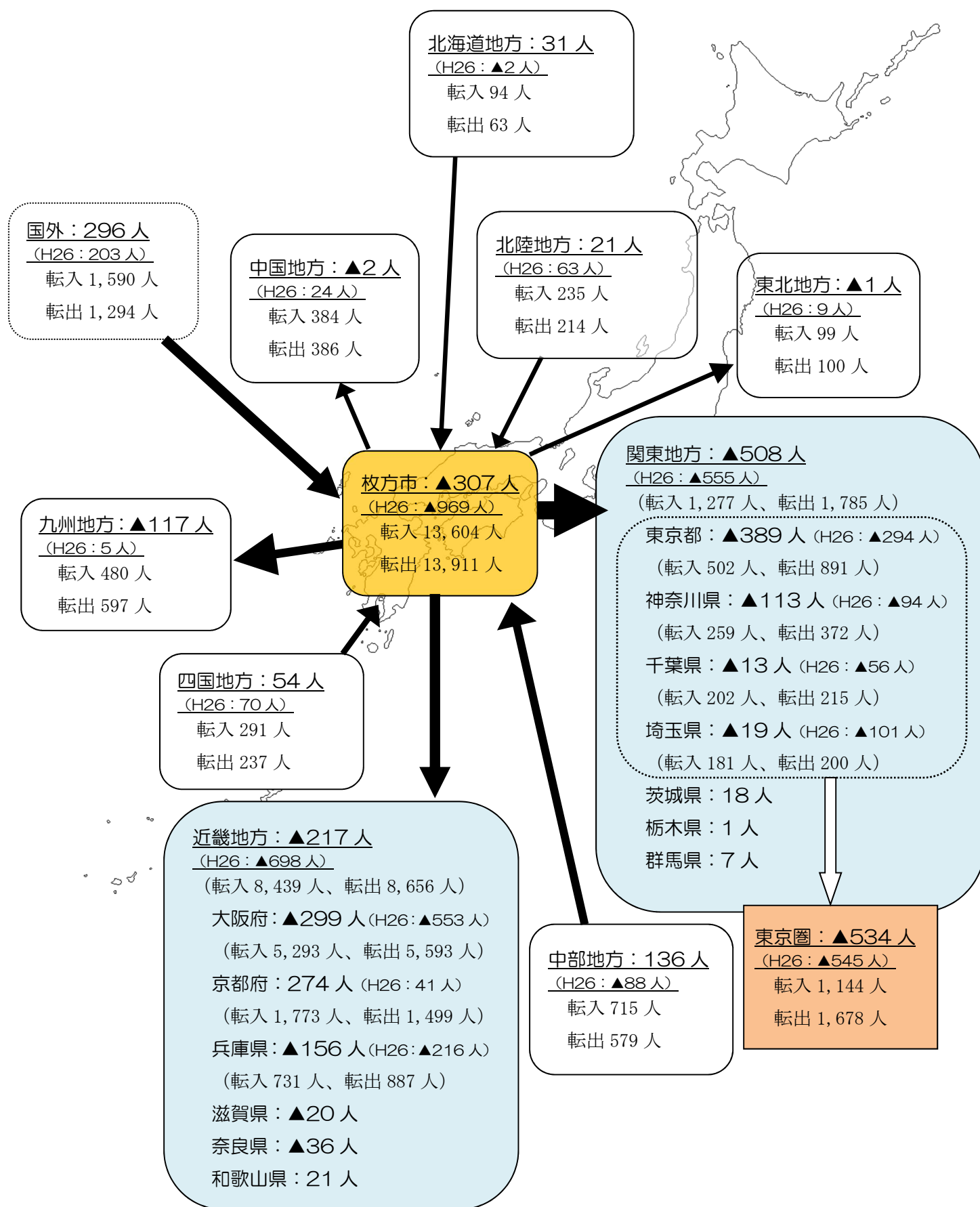
②転入元・転出先の状況

地方別で見た本市への転入元及び本市からの転出先の状況（令和元年）については、社会増減の規模が近畿地方で最も大きく（転入8,439人・転出8,656人）、次に、関東地方（転入1,277人・転出1,785人）となっており、特に、東京圏（東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県）で関東地方の9割以上を占めています。

また、社会増減についても、関東地方で508人と最も転出超過数が多く、特に東京圏だけでみると534人の転出超過となっており、次に、近畿地方で217人となっています。日本全体の人口減少の要因となっている東京一極集中の傾向が本市でも見受けられます。

一方、転入超過となっているのは、中部地方が136人と最も多く、次に、四国地方で54人、北海道地方で31人となっています。そのほか、国外からは296人の転入超過となっています。

図 地方別の転入元・転出先の状況（令和元年）

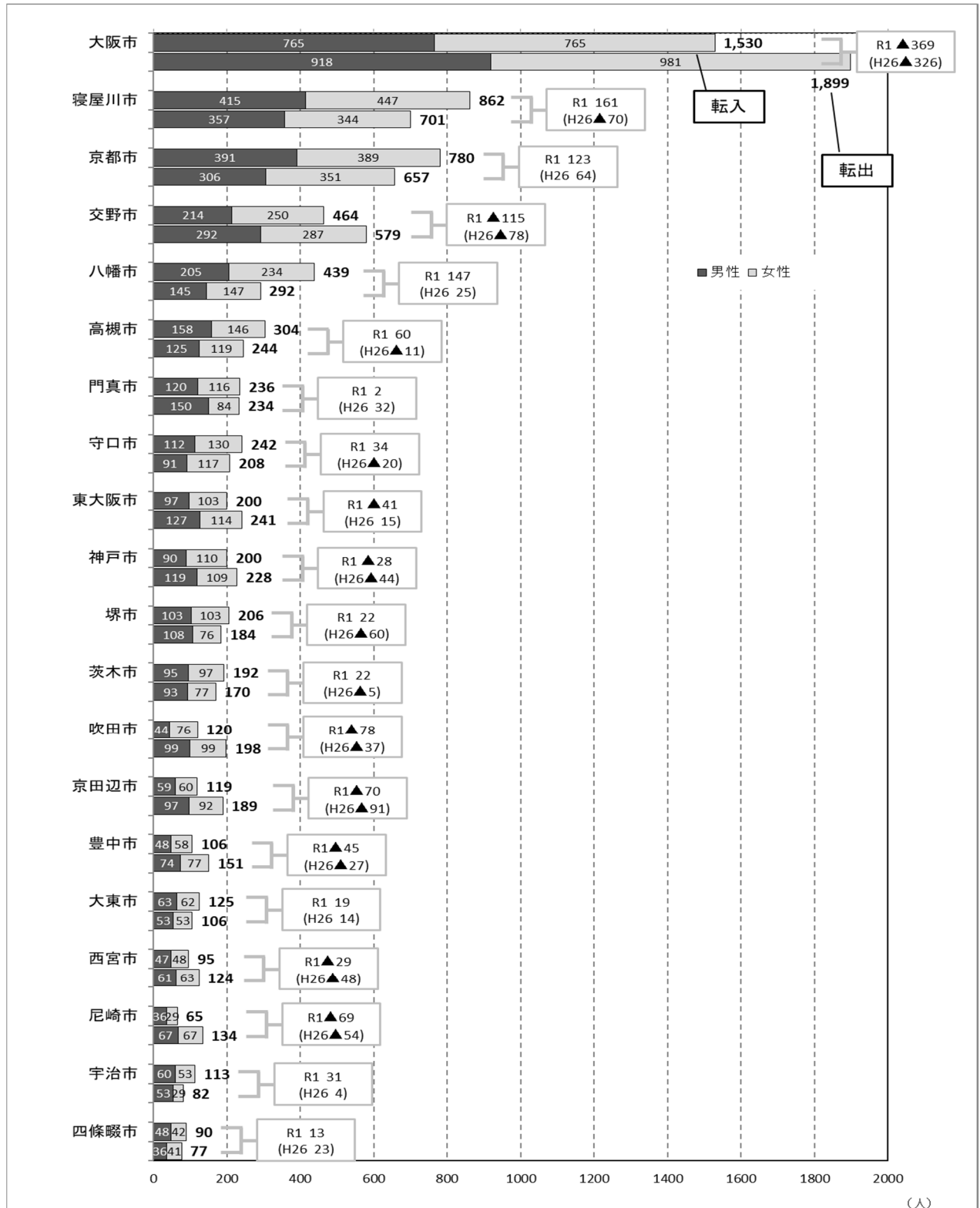


出典：枚方市統計書

また、本市との社会増減の規模が大きい大阪府、京都府、兵庫県の市町村との転入・転出の状況（令和元年）を見てみると、大阪市が最も社会増減の規模が大きく（転入 1,530 人・転出 1,899 人）、続いて、寝屋川市、京都市、交野市、八幡市の順となっています。特に、大阪市に対しては、転出超過の規模も最も大きく（369 人）、年齢別に見ると、20 歳代及び 30 歳代前半の転出数が全体の転出数の半数以上を占めています。

図 大阪府、京都府、兵庫県の市町村との転入元・転出先の状況（令和元年）

（社会増減の規模順で 20 位までを掲載）



出典：住民基本台帳人口より枚方市作成

表 近隣の市町村との転入元・転出先の状況（令和元年）

<5 歳階級別>

（社会増減の規模順で5 位までを掲載）

図 近隣の市町村との転入元・転入先の状況（5歳階級別）

	市町村	0～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	総数	(H26)	
1	大阪市	転入	131	35	7	30	159	314	320	175	82	58	40	27	38	25	12	18	18	41	1,530	1,383
		転出	41	25	13	43	337	498	306	156	99	96	75	51	34	25	25	19	24	32	1,899	1,709
		増減	90	10	▲ 6	▲ 13	▲ 178	▲ 184	14	19	▲ 17	▲ 38	▲ 35	▲ 24	4	0	▲ 13	▲ 1	▲ 6	9	▲ 369	▲ 326
2	寝屋川市	転入	84	38	9	23	68	105	126	90	58	52	41	33	24	29	14	21	23	24	862	983
		転出	25	9	3	31	103	147	100	57	36	38	42	21	18	20	12	16	10	13	701	1,053
		増減	59	29	6	▲ 8	▲ 35	▲ 42	26	33	22	14	▲ 1	12	6	9	2	5	13	11	161	▲ 70
3	京都市	転入	49	27	8	17	91	168	125	98	42	36	39	15	12	11	10	6	11	15	780	676
		転出	24	13	14	30	127	158	90	49	29	23	28	20	3	6	9	13	11	10	657	612
		増減	25	14	▲ 6	▲ 13	▲ 36	10	35	49	13	13	11	▲ 5	9	5	1	▲ 7	0	5	123	64
4	交野市	転入	31	19	11	18	50	75	62	40	24	26	31	18	13	15	7	8	10	6	464	437
		転出	52	19	18	19	50	67	92	53	40	42	29	16	17	15	16	12	6	16	579	515
		増減	▲ 21	0	▲ 7	▲ 1	0	8	▲ 30	▲ 13	▲ 16	▲ 16	2	2	▲ 4	0	▲ 9	▲ 4	4	▲ 10	▲ 115	▲ 78
5	八幡市	転入	31	18	6	17	39	71	59	38	38	24	16	13	14	13	12	10	9	11	439	464
		転出	22	14	6	6	26	40	28	22	25	21	12	11	9	13	13	9	8	7	292	439
		増減	9	4	0	11	13	31	31	16	13	3	4	2	5	0	▲ 1	1	1	4	147	25

※ 図 枚方市の年齢別・5歳階級別の社会移動の状況

枚方市	0～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	総数	世帯数	
令和元年 (2019年)	転入	854	463	243	633	2,266	2,498	1,925	1,156	774	633	528	356	273	208	163	181	171	279	13,604	10,297
	転出	642	404	234	423	2,819	2,799	1,763	1,142	802	664	537	389	286	242	199	188	157	221	13,911	11,100
	増減	212	59	9	210	▲ 553	▲ 301	162	14	▲ 28	▲ 31	▲ 9	▲ 33	▲ 13	▲ 34	▲ 36	▲ 7	14	58	▲ 307	▲ 803
平成26年 (2014年)	転入	891	405	308	615	2,225	2,194	1,746	1,240	887	613	432	306	259	253	210	141	153	235	13,113	9,816
	転出	793	532	282	446	2,399	2,535	1,982	1,287	1,037	662	488	376	348	300	208	154	109	144	14,082	10,770
	増減	98	▲ 127	26	169	▲ 174	▲ 341	▲ 236	▲ 47	▲ 150	▲ 49	▲ 56	▲ 70	▲ 89	▲ 47	2	▲ 13	44	91	▲ 969	▲ 954

出典：住民基本台帳人口より枚方市作成 単位：人

図 枚方市の世帯別・5歳階級別の社会移動の状況

①単身世帯

枚方市	0～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	世帯数
令和元年 (2019年)	転入 16	10	17	464	2,068	2,026	1,084	568	383	341	309	217	170	115	93	120	126	223	8,350
	転出 11	8	19	233	2,633	2,423	1,231	691	451	375	311	205	159	118	114	117	106	181	9,386
	増減 5	2	▲ 2	231	▲ 565	▲ 397	▲ 147	▲ 123	▲ 68	▲ 34	▲ 2	12	11	▲ 3	▲ 21	3	20	42	▲ 1036
平成26年 (2014年)	転入 23	13	21	423	2,029	1,752	1,015	596	458	340	259	172	152	131	119	85	118	197	7,903
	転出 9	13	22	232	2,179	2,096	1,309	759	563	373	291	228	190	178	110	91	77	121	8,841
	増減 14	0	▲ 1	191	▲ 150	▲ 344	▲ 294	▲ 163	▲ 105	▲ 33	▲ 32	▲ 56	▲ 38	▲ 47	9	▲ 6	41	76	▲ 938

②夫婦のみ世帯

枚方市	0～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	世帯数
令和元年 (2019年)	転入 0	0	0	0	5	79	143	83	49	41	44	36	38	36	21	31	17	30	653
	転出 0	0	0	0	6	67	83	61	29	36	39	38	51	46	33	30	22	21	562
	増減 0	0	0	0	▲ 1	12	60	22	20	5	5	▲ 2	▲ 13	▲ 10	▲ 12	1	▲ 5	9	91
平成26年 (2014年)	転入 0	0	0	1	9	63	114	72	60	30	19	35	37	38	43	25	16	16	578
	転出 0	0	0	0	7	62	99	48	63	28	31	34	59	39	39	25	13	11	558
	増減 0	0	0	1	2	1	15	24	▲ 3	2	▲ 12	1	▲ 22	▲ 1	4	0	3	5	20

③夫婦子あり世帯

枚方市	0～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	世帯数
令和元年 (2019年)	転入 0	0	0	0	18	80	224	169	79	84	38	26	14	13	6	2	2	0	755
	転出 0	0	0	0	14	58	118	129	90	60	44	34	13	12	4	4	0	0	580
	増減 0	0	0	0	4	22	106	40	▲ 11	24	▲ 6	▲ 8	1	1	2	▲ 2	2	0	175
平成26年 (2014年)	転入 0	0	0	0	13	84	185	193	118	74	49	19	10	11	4	1	1	0	762
	転出 0	0	0	0	9	70	155	136	125	73	42	24	18	10	7	4	2	0	675
	増減 0	0	0	0	4	14	30	57	▲ 7	1	7	▲ 5	▲ 8	1	▲ 3	▲ 3	▲ 1	0	87

④その他の(一人親世帯など)

枚方市	0～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	世帯数
令和元年 (2019年)	転入 0	4	6	4	32	49	96	87	98	81	46	15	5	6	4	2	1	3	539
	転出 1	4	6	5	27	43	82	90	115	77	57	26	7	13	8	8	1	2	572
	増減 ▲ 1	0	0	▲ 1	5	6	14	▲ 3	▲ 17	4	▲ 11	▲ 11	▲ 2	▲ 7	▲ 4	▲ 6	0	1	▲ 33
平成26年 (2014年)	転入 3	6	10	4	38	62	92	105	87	62	47	17	10	17	2	3	4	4	573
	転出 1	5	4	7	42	74	111	121	118	89	44	25	18	16	7	7	4	3	696
	増減 2	1	6	▲ 3	▲ 4	▲ 12	▲ 19	▲ 16	▲ 31	▲ 27	3	▲ 8	▲ 8	1	▲ 5	▲ 4	0	1	▲ 123

2. 枚方市人口の将来見通し

国や大阪府の人口ビジョンと本市の人口の現状から、本市の自然増減・社会増減についての条件を次のとおり設定した場合の将来見通しは以下のとおりとなります。市が実施した将来人口推計による人口の推移を、自然増減・社会増減について次に示す条件の下で推計した2つのケースの見通しに近づけていくため、総合戦略に掲げる取り組みを着実に進めていく必要があります。

自然増減・社会増減についての条件

自然増減についての条件

- 「国の長期ビジョン」では、合計特殊出生率の仮定値を2020（令和2）年に1.6、2030（令和12）年に1.8、2040（令和22）年に2.07としています。
- 「大阪府人口ビジョン」では、合計特殊出生率を国の示す出生率のケース、及び、大阪府と国全体の出生率の差を加味したケースの2通りとしています。
- これらを踏まえて、本市における合計特殊出生率についても、以下のとおり、大阪府と同様に2つのケースを活用します。

	2020（令和2）年	2030（令和12）年	2040（令和22）年
国の示す出生率	1.6	1.8	2.07
大阪府の示す出生率	1.49	1.68	1.93

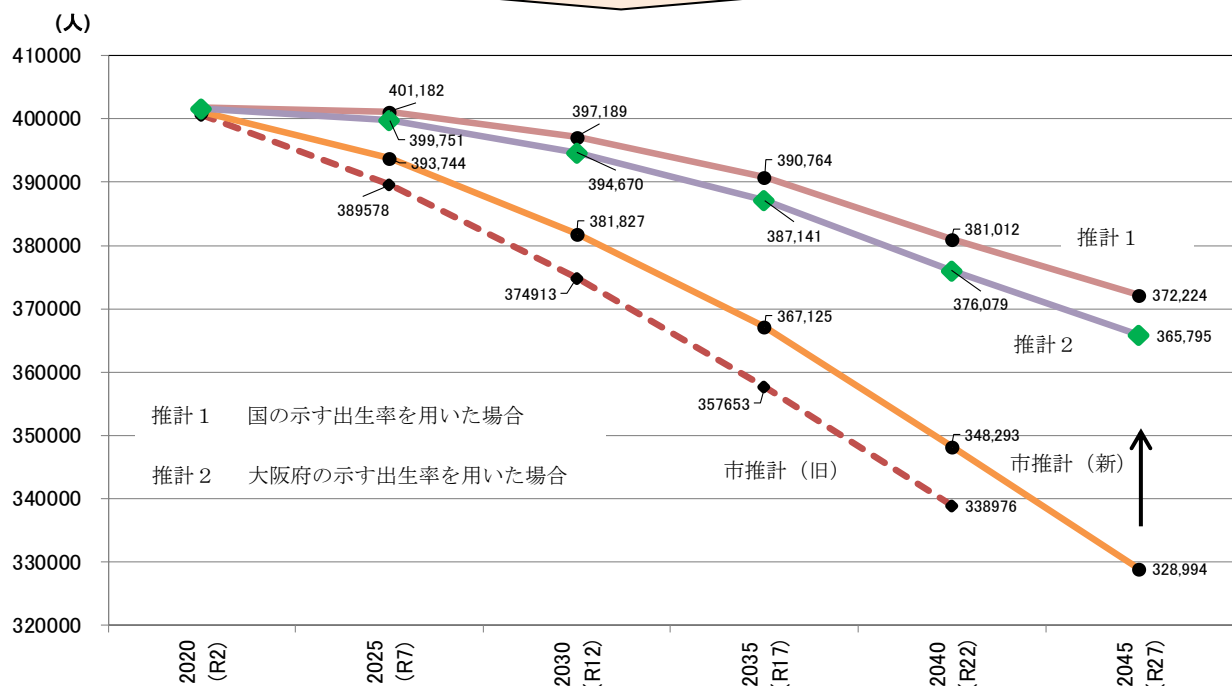
【参考】合計特殊出生率（2017（平成29）年ベース）：全国1.43、大阪府1.35、枚方市1.27

社会増減についての条件

- 2024（令和6）年に社会増減の差がゼロ

【参考】本市の2018（平成30年）中の社会移動は420人の転出超過

国と大阪府が示す出生率の2つのケースで行った 枚方市人口の見通し



※ 市推計（新）については、国立社会保障・人口問題研究所においても採用されているコーホート要因法を用い、令和元年（2019年）5月1日の住民基本台帳人口（外国人を含む）をベースに行いました。なお、市推計（旧）については、平成25年（2013年）6月1日の住民基本台帳人口（外国人を含む）をベースに行ったものを参考に示しています。